



山口県総合芸術文化祭 2026

# 第71回山口県交響楽団演奏会

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

YMfg



山口銀行

山口銀行文化支援事業

やまぎんコンサート

## プログラム

シベリウス:「カレリア」組曲

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番八短調

シベリウス:交響曲第2番二長調



ピアノ  
田中しのぶ



指揮  
篠崎 靖男

©BenjaminEalovega

YAMAGUCHI PREFECTURE SYMPHONY ORCHESTRA



2026年12月6日(日)

会場:宇部市渡辺翁記念会館

(公財)渡辺翁記念文化協会助成事業

開演14時、開場13時(開演までの間にウェルカムコンサートを行います)

全席自由／一般1,500円 高校生以下1,000円

■主催者/山口県交響楽団 やまぐち文化プログラム実行委員会(山口県、山口県文化連盟、山口県観光連盟、(公財)山口きらめき財団) 山口県教育委員会

■共催/山口銀行 tys テレビ山口 宇部市 宇部市教育委員会 ■協賛/山口宇部空港ビル株式会社

■後援/(公財)山口県ひとづくり財団 FMエフエム山口 (一社)宇部観光コンベンション協会

朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社 中国新聞防長本社 山口新聞社 宇部日報社 Cable山口テレビ FMきらら

●プレイガイド/宇部市文化会館 宇部市文化創造財団 イトオ楽器 下関市民会館 山口市市民会館 防府市アスビラート

[Pコード:329-967](セブンイレブンのマルチコピー機でお買い求めできます。手数料無料)

●駐車場が混みあうことが予想されるため、なるべく公共交通機関でご来場ください。お車でのご来場の際は、係員の指示に従い、奥から詰めての駐車(演奏会終了までお車の移動ができません)にご協力いただく場合があります。

●演奏会の模様は、tysテレビ山口により収録され、年末に放映される予定です。

●託児サービスについては、下記までお問い合わせください。(11月29日締切)

E-mail yamakyou1955@gmail.com 問合せ先 090-1013-3719(秋本)



楽団ホームページ



©藤本 崇

## ■篠崎 靖男 指揮者 Yasuo SHINOZAKI, conductor



1968年京都生まれ。桐朋学園大学にて指揮を山本七雄、飯守泰次郎の両氏に師事。1993年アントニオ・ベドロティ国際指揮者コンクール最高位を受賞。その後ウィーン国立音楽大学指揮科にてレオポルド・ハーガー、湯浅勇治の両氏に師事。2000年には第2回シベリウス国際指揮者コンクールにて第2位を受賞し、ヘルシンキ・フィルを指揮してヨーロッパにデビュー。

2001年ロサンゼルス・フィルの副指揮者に就任。2004年の任期終了までに定期演奏会や夏のハリウッドボウル音楽祭など、オーケストラと非常に密接で充実した関係を築き、その後の活動の礎とした。退任後はロンドンを本拠に、ロンドン・フィル、BBCフィル、ボーンマス交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、フィンランド放送交響楽団、スウェーデン放送交響楽団をはじめ、欧州各国の主要オーケストラを指揮。なかでも2007年から2014年7月まで芸術監督・首席指揮者を務めたフィンランド・キュミ・シンフォニエッタでは、ロンドンやサンクトペテルブルクでの公演も大成功させるなど意欲的な活動でオーケストラの目覚ましい発展に尽力、その7年半に渡る在任期間はフィンランドでは異例の長さであり、現在も毎年客演を続けるほど両者は深い信頼関係で結ばれている。

国内では読売日響、東京フィル、日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、大阪響、関西フィル、日本センチュリー響、仙台フィル、札幌響、群馬響等の主要オーケストラに登場。静岡交響楽団では2014年9月から2018年3月までミュージック・アドバイザーと常任指揮者を務めた。

近年はドイツのマグデブルク・フィル、南アフリカ共和国のKZNフィル、ヨハネスブルグ・フィル、ケープタウン・フィル等に定期的に客演し、それぞれの地で絶賛を浴びるなど、国内外で活躍を続ける篠崎靖男の正統的なスタイルとダイナミックな指揮は、観客を魅了して止まない。現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師（指揮専攻）として後進の指導にも当たっている。

オフィシャル・ホームページ <http://www.yasuoshinozaki.com/>

## ■田中しのぶ ピアノ Shinobu TANAKA, piano

山口県宇部市出身。広島大学教育学部音楽科卒業、同大学大学院教育学研究科修了。第9回日本クラシック音楽コンクール全国大会、大学の部にて3位(1,2位なし)入賞。広島交響楽団、広島大学交響楽団などとシューマン・ラフマニノフ第2番、シュールホフ（日本初演）のピアノ協奏曲を共演。

2003年より渡仏、2005年フランス音楽国際コンクール連弾の部にて1位入賞。2009年にはプーランク作曲「2台ピアノのための協奏曲」のソリストに抜擢され好評を得た。

現代音楽グループ2E2M、Ensemble Court-Circuitの演奏会にピアニスト、鍵盤奏者として出演、MusicAlp夏期国際音楽アカデミー、Académie Ravel、Saline Royale Academyなどで伴奏ピアニストを務めるなど幅広い活動を行っている。室内楽奏者としての信頼も厚く、フローラン・エオー、ジェローム・ヴォアザン、ロマン・ギユイオなど数々のクラリネット奏者と共演。2018年にはジュネーヴ国際音楽コンクールクラリネット部門の公式伴奏ピアニストを務めた。

ピアノをテオドル・パラスキヴェスコ、上田晴子、故岡野説子、佐藤久美子の各氏に室内楽をジャン＝ジャック・カントロフ、ジャン＝クロード・ブヴレス、上田晴子の各氏に師事。2021年9月帰国まで、フランス国立ジュヌヴィエリエ音楽院にて後進の指導にあたり、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてクロード・ルロン、ピエール＝アンリ・グゼルス、ブルーノ・パスキエ、ピエール・レネールのヴィオラクラスの伴奏を務めた。現在は日本とフランスとの架け橋となるべく、両国で演奏活動や後進の育成にあたっている。



# YAMAGUCHI PREFECTURE SYMPHONY ORCHESTRA



## ■山口県交響楽団プロフィール

山口県交響楽団は、1955年の創設以来70年にわたり、県民の皆様に広くオーケストラの音楽をお届けしてまいりました。

主な活動としては、プロの指揮者や山口県ゆかりのアーティストなどを招聘し、毎年会場を変えて12月に開催している定期演奏会をはじめ、次代を担う子どもたちのために県内各地の学校等を訪問して行う「巡回芸術劇場演奏会」、東日本大震災復興のチャリティー演奏会として始まった山陽小野田市での「山響サマーコンサート」などを開催しています。

また、これまで「日本語による第九演奏会」や郷土を題材にした交響詩「秋吉台」の初演、組曲「香月泰男」の再演など、特色ある活動にも意欲的に取り組み、これまでに山口県芸術文化振興奨励賞、山口県選奨、地域文化功労者賞（文部科学大臣表彰）を受賞するなど、高い評価をいただいています。これからも、県内で最も歴史のある交響楽団として、より多くの方々に愛される県民オーケストラ「みんなの山響」をめざし、団員一同精力的に取り組んでまいります。